

2-3 ハラスメント

先輩に厳しく指導されて悩んでいることが、「ストレスチェック」の結果に出てしまったら、あなたならどうしますか？

事例

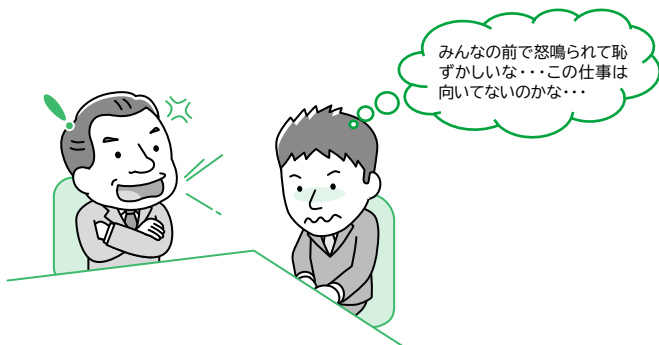
君の将来のためだぞ！

Bさんは、先輩社員のCさんから、仕事の指導を受けています。しかし、いつもCさんから、部署の全員がいる前で頻りに怒られています。「何をやらせてもダメなヤツだな!」、「親の顔が見てみたいよ!」などと、大声で怒鳴られているのです。

Cさんからは、「厳しくしているのは、君の将来のためだぞ!」と言われていて、なかなか言い返せません。

「仕事ができない自分が悪いのだから頑張ろう」と自分に言い聞かせていますが、最近は「この仕事に向いていないのでは」と考えるようになってしまいました。

毎日、職場に行くのがゆううつで、胃がキリキリと痛くなってきています。



こんなとき、「ストレスチェック」を受けたBさんの結果は下記の内容でした。

Bさんのストレスチェック結果

- ・職場の対人関係でのストレスが高く、今の仕事が向いていないと感じている
- ・不安感や、身体愁訴（なんとなく身体の調子が良くない）を感じている
- ・上司にもっとサポートしてほしいと感じている

こんなとき、あなたがBさんならどうしますか？



解説 上司の指導で「ハラスメント」を改善

このような場合、どうすればよいでしょうか

今回の問題は「ハラスメント」です。

職場で見られる3つの代表的な「ハラスメント」をまとめてみました。

種類	内容
パワー・ハラスメント	職務上の立場を利用して、相手に対して苦痛を与えるいじめや嫌がらせ ・脅しや暴力、全員の前で人格を否定するような叱り方をする など
セクシャル・ハラスメント	性的な発言などで、相手に対して不快感や苦痛を与えるいじめや嫌がらせ ・無意味なスキンシップ、職場で性的な冗談を言う など
モラル・ハラスメント	立場や性的な内容だけに限らず、相手に不快感や苦痛を与える職場内のいじめや嫌がらせ ・集団で無視する、根も葉もないうわさ話を流す など

ここで、先に「ハラスメント」について説明しておきましょう。「ハラスメント」とは、ひと言でいうと「いじめや嫌がらせ」のことで、大きな「ストレス」の原因となります。

さらに、状況によっては「ハラスメント」を受けた人が、一生心の傷を負ってしまうことさえあります。

今回の場合、CさんによるBさんへの「パワー・ハラスメント」として、とらえることができます。

Cさんにとっては、当たり前の指導だったかもしれません。

しかし、Bさんにとっては、日常的に部署のみんなの前で怒鳴られたり、能力や人格を否定されたりすることが、大きな「ストレス」になっています。

それが「ストレスチェック」の結果として出ているのです。

注意しなければならないのは、「ハラスメント」を行う人の特徴として、本人には「ハラスメント」の自覚がないことです。

今回のケースでは、Cさんは自分の指導方法が、Bさんにとって大きな「ストレス」であることに気付いていないのです。

もし、気付いていたとしても、「このぐらいのことに耐えられなければ成長しない」と、勝手に思い込んでいるのです。

このことが、この問題を難しくしています。

では、どうすればよいでしょうか。

ひとつは、Bさんが直接、Cさんに「ハラスメント」だと伝える方法があります。

しかし、仕事の指導をしてもらっている立場上、正面切って『あなたの指導方法は「ハラスメント」だ』とは言いにくいでしょう。

また、それにより、Cさんが「指導方法に文句を言うなど生意気だ!」と怒ってしまい、さらに事態が悪くなる可能性があります。

この場合の最良の方法は、まず部署の責任者など、上司に相談することです。

「ストレスチェック」の結果に「上司にもっとサポートしてほしい」の項目が出たのは、上司に「この状況を気付いてほしい、助けてほしい」という気持ちが表れたものです。

この結果をもとに、上司にCさんの指導方法が大きな「ストレス」になっていることを説明しましょう。

上司からCさんに対し『君の指導方法はBさんに大きな「ストレス」を与えていて、このままだと「ハラスメント」になってしまう。今後は指導方法を見なおしてほしい』と指導してもらうのです。



このように、「ハラスメント」の問題を解決するには、当事者同士では難しいため、第三者による調整が必要となります。

「ストレスチェック」の結果は、自分に必要なサポートを知るためにも有効なものです。